

板柵土留 樹脂杭（建て込みタイプ）施工の手順

警告

可燃性の材料ですので野焼き等、火を近づけますと燃えたり、変形したりします。
火の取扱いにご注意下さい。

注意

・擬木は加工時（屋内）と施工時（屋外）の温度差によって伸縮し、全長が変化します。
施工直前まで覆いを掛ける等、直射日光に当てないように配慮して下さい。

準備工具類

1. ハンドオーガまたはダブルスコップ
2. インパクトドリル #2プラスドライバービット
3. 小型転圧機またはタンパー
4. 丸のこ
5. 水平器

1. 地盤掘削

杭設置位置にハンドオーガ等で、外径100mm程度必要深さを掘削する。【図1】

2. 杭建込

掘削下穴へ杭を建て込み、頭部レベルを合わせる。【図2】

埋め戻しの際には、充分に、杭周りを突き固めてください。

突き固めが不十分だと、土留めが前もたれになる危険性があります。

注意

杭は弾力性があるためカケヤ等でたたいてもなかなか入りません。

穴を掘って埋め込んで下さい。

たたき込むと年輪が割れたり欠けたりする場合があります。

たたき込む場合は、緩衝材を当てて下さい。

3. 横板設置

地盤レベルを確認後、最下段横板を配置する。【図3】

2段目以降の横板を同様に配置し、横板を杭に固定する。

※裏側より杭に向かい、インパクトドリル等でビスをねじ込みます。【図4】

※横板には下孔をあけてください。

繋ぎ目部に不織布をセットする。

4. 背面土の転圧・締固め

盛土材（埋戻材）を投入し、適度に転圧し、締固める。

図1

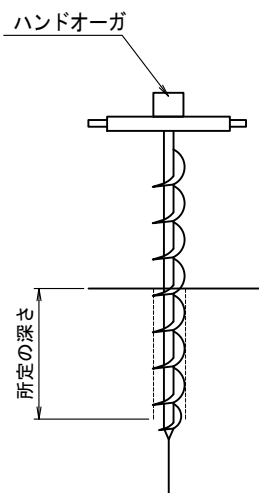


図2

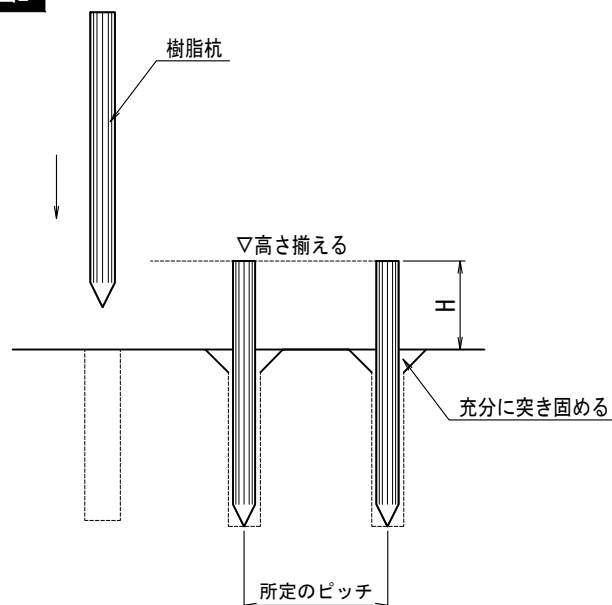


図3

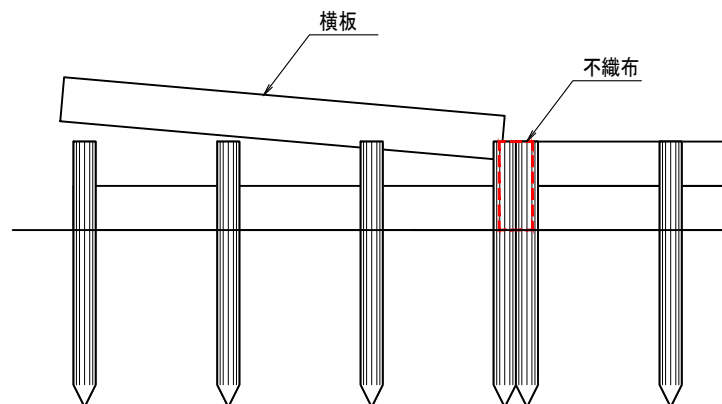


図4

